

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平6-31455

(43) 公開日 平成6年(1994)4月26日

(51) Int.Cl.⁵

A 0 1 K 87/08

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

9228-2B

A 0 1 K 87/ 00

D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 2 頁)

(21) 出願番号 実願平4-66600

(22) 出願日 平成4年(1992)9月25日

(71) 出願人 000002439

株式会社シマノ

大阪府堺市老松町3丁77番地

(72) 考案者 保井 利彦

大阪府富田林市大字甲田585番地 1 3-1213

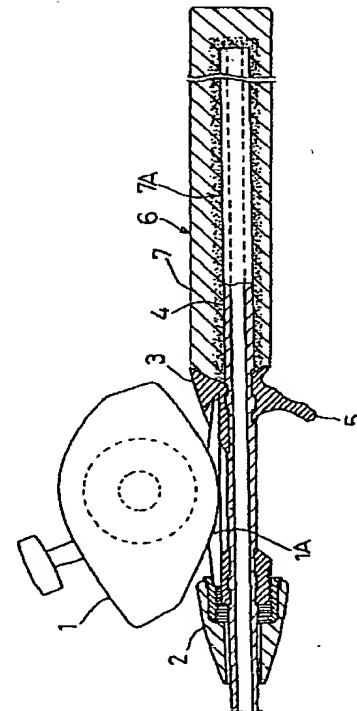
(74) 代理人 弁理士 北村 修

(54) 【考案の名称】 竿のコルク製グリップ

(57) 【要約】

【目的】 握った状態で暖かを感じることができるとともに、適度な弾力感を感知できるコルク特有の良さを生かしながら、剪断強度等の機械的強度を高めたコルクグリップを提供する点にある。

【構成】 元部を形成する竿素材4に外嵌してグリップ6を形成するコルク製の円筒部材7に、外面に達しない状態でエポキシ樹脂を含浸させた樹脂含浸部7Aを形成してある。



1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 竿の手元部における軸状部材（4）にコルク製の外層材（7）を外嵌してある竿のコルク製グリップであって、

前記外層材（7）に、前記外層材（7）の内周面より径方向に向かって外周面に達しない厚さで樹脂（9）を含浸させた樹脂含浸部（7A）を形成してある竿のコルク製グリップ。

【図面の簡単な説明】

【図1】 全体縦断側面図

【図2】（イ） 樹脂を含浸させる状態を示す原理図

（ロ） 樹脂を含浸させ終えた状態を示す原理図

【符号の説明】

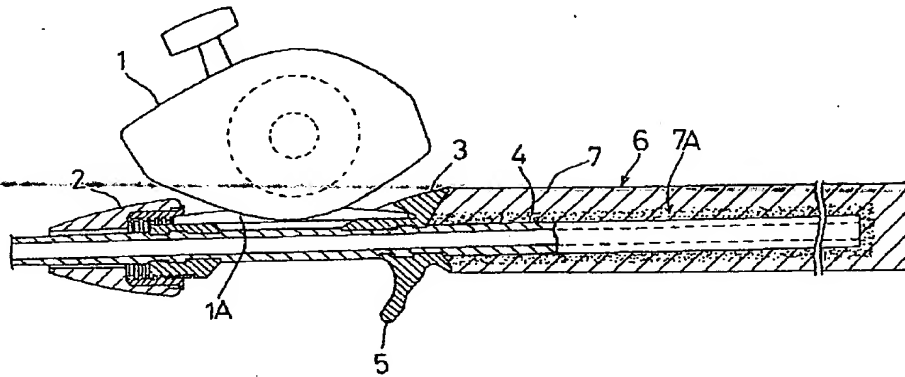
4 軸状部材

7 外層材

7A 樹脂含浸部

9 樹脂

【図1】



【図2】

